

岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報誌

# 岐大の いぶき

2022  
Spring-Summer No. 43

学び 究め 貢献する



世界と伍する  
知の拠点へ





「丸池広場」図書館前の広場はキャンパスの中心。学生の憩いの場となっています。

岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報誌

# 岐大の いぶき

2022  
Spring-Summer No. 43

published by



[表紙写真]

岐阜大学 学長  
東海国立大学機構 大学総括理事・副機構長  
吉田 和弘

## 04-09 【特集】世界と伍する知の拠点へ

岐阜大学 学長 東海国立大学機構 大学総括理事・副機構長 吉田 和弘

## 10-13 岐大で生まれるもの。最先端研究の現場。

岐阜大学社会システム経営学環 柴田 仁夫 准教授  
岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野 下畑 享良 教授

## 14-15 ひらけ！授業の扉

数理・データサイエンス教育「データ科学基礎」「データ科学基礎演習A・B」

## 16-19 いまを駆ける！岐大生FACE

Interview 岐阜大学自転車部 部長 蒔苗 拓真 さん  
Interview 岐阜大学学生保安消防隊 隊長 星野 想空 さん

## 20-21 Topics 岐阜大学のとりくみ Nov.2021→May.2022

## 22 岐阜大学基金

# 世界最高水準の知識・教養とともに モラルや人を思いやる心を身に付けた 次の時代を担う若者を育てたい。



岐阜大学 学長  
東海国立大学機構 大学総括理事・副機構長  
**吉田 和弘**

## 「世界と伍する研究力」と 「地域共創」を実現する大学へ

今回、長い歴史を持つ岐阜大学の次の時代を、皆さんと一緒に作り上げていくチャンスを与えていただけたことを非常に嬉しく思っています。学長就任にあたり、改めて大学のコンセプトとして掲げたのが、「学び、極め、貢献する」人材を広く社会に輩出していくこと。「人が育つ場所であり続ける」という理念こそが大切だと考えています。また、岐阜大学は令和2年、東海国立大学機構として名古屋大学と法人統合を果たしました。東海国立大学機構では、「世界と伍する研究力」と「地域共創」の2つのテーマの達成を目標としており、今後も名古屋大学と手を携えながら、互いの英知を結集することで、全ての人が豊かに暮らせる社会づくりに貢献していきたいと決意を新たにしています。

東海国立大学機構では、「国際通用性のある質の高い教育の実践」、「世界水準の研究の展開による知の拠点化」、「社会・産業の課題解決を通じた国際社会と地域共創への貢献」という三つのスタートアップビジョンを掲げています。これらを基盤としながら、政府が提唱する未来社会「Society5.0」における地域のネットワークハブとしての役割を果

たすことが、私たち岐阜大学のミッションです。国がテーマとして掲げる「研究力の強化」を図り、世界と伍する研究に取り組む一方で、地域の中核となる大学として活躍していく。これこそが岐阜大学が目指すべき姿であると思っています。

## 文理横断的な知を備え Society5.0に適応した 人材を育成

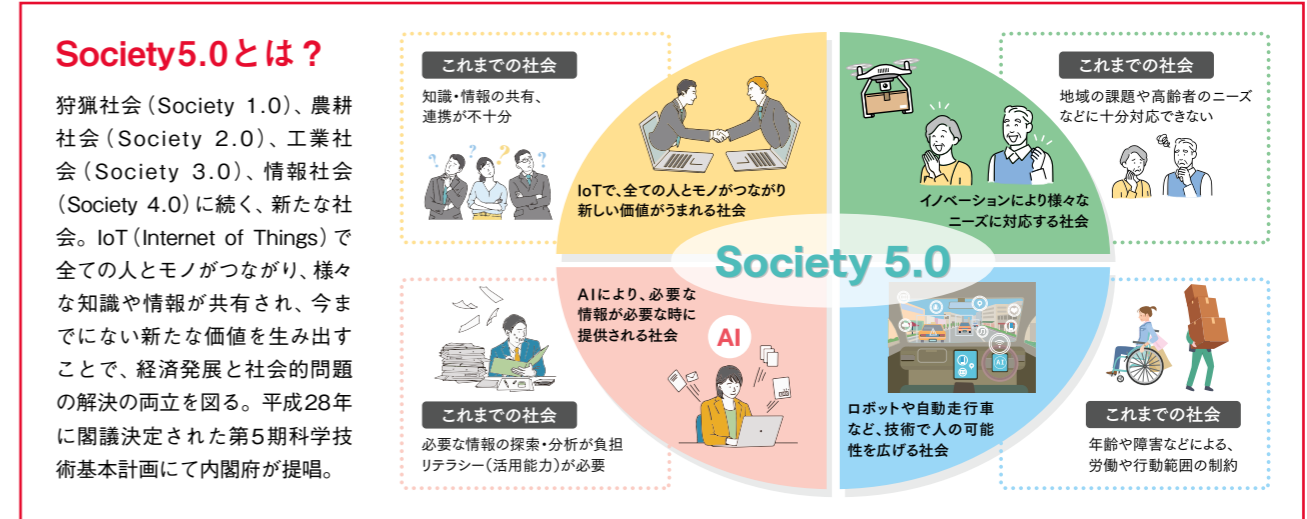
一つ目のビジョンである「国際通用性のある質の高い教育の実践」とは、「Society5.0」に適応した人材の育成を意味しています。岐阜大学ではこのビジョンの達成に向け、三つのテーマを掲げました。「アカデミック・セントラルを中心とした教育体制と環境の確立」、「デジタルユニバーシティの実現」、そして「学生・教職員が真の能力を発揮できる環境と体制の構築」です。アカデミック・セントラルとは、東海国立大学機構全体の教育基盤の整備を行う組織のこと。ここで新たな教育の基本を構築し、共通教育ではリベラルアーツや数理・データサイエンスなどを幅広く学べる環境を整えることで、文理横断的・異分野融合的な知を備えた人材を育成していく考えです。アバターなどのデジタル技術を活用した教育の質の向上などにも力を入れてい

ます。ネットワーク大学コンソーシアム岐阜を基盤とした岐阜県内での大学間連携も重要です。

また、大学院の博士課程の強化にも取り組めます。学問には本来、興味のある分野を思う存分探求する、社会のニーズを捉えて研究するなど、さまざまな形があると思いますが、現代ではとりわけ「企業が求める人材の育成」が強く求められています。企業と連携を図りながら、社会のニーズに合致した大学院生の育成を強化することで、人口減少が急速に進む日本社会において即戦力となりうる人材をより多く輩出していきます。同時に、人生100年時代を迎えるなかで、リカレント教育も大きなテーマだと考えています。第一線で活躍する社会人がより専門性を高めるための教育の充実も目標の一つです。また、岐阜大学と名古屋大学の特徴を生かした連携や、海外の先進的な大学とのジョイント・ディグリーなどもさらに発展させていきたいと考えています。

## 医・獣・工・薬が一体となった 医療・創薬のイノベーション拠点

二つ目のビジョンである「世界水準の研究の展開による知の拠点化」においては、すでに傑出した研究分野がいくつも存在しています。





東海国立大学機構では四つの拠点  
を立ち上げていますが、特に「糖鎖  
生命コア研究拠点」が目覚ましい  
成果を上げており、今後は世界的  
な研究プロジェクトへと発展して  
いこうと大きな期待を寄せて  
います。航空宇宙研究教育拠点の  
発展も顕著で、内閣府や岐阜県の  
支援を受けています。また今後は、  
新たに「先端医療・創薬イノベー  
ション拠点構想」を推進していき  
たいと考えています。岐阜大学内  
には医学、獣医学、工学の研究拠  
点があるに加え、令和9年までに  
岐阜大学のキャンパスに近接して  
岐阜薬科大学が全機能を移転させ  
る計画が進行中です。最先端の医  
療・創薬の研究に欠かせない要素  
がすべて一体となることで、互い  
の強みを活かした一大ライフサイ  
エンスエリアが完成する予定であ  
り、これは文科省が掲げる「イノ  
ベーション・コモンズ(共創拠点)」  
の基盤整備にも合致するもので  
す。獣医学

の知見を持つ応用生物学部で動  
物による前臨床試験を行い、医学  
部や大学病院、県内の関連病院が  
地域一体型の臨床研究体制を敷き、  
迅速に治験を進めていく。こうし  
た体制が整うことで、岐阜からい  
ち早く新たな薬や医療技術を生み  
出すことが可能となり、日本にお  
ける創薬の新たなモデルを構築で  
きると期待しています。まさしく  
「医療・創薬」のイノベーションの  
拠点であり、岐阜大学のキャンパ  
ス一帯を開発していくことで、若  
者と高齢者が健康で豊かに暮ら  
せるスマートシティ構想にもつな  
げたいと思っています。

### 岐阜大学の強みに着目した 「ミ・ラ・イ・エ構想」を具現化

三つの目のビジョンである「社  
会・産業の課題解決を通じた国際  
社会と地域共創への貢献」におい  
ては、東海国立大学機構の松尾機  
構長が提唱する、大学・産業界・地  
域発展の好循環モデル「TOKAI-  
PRACTISS構想」を実践し発展さ  
せることを目標に掲げています。  
特に岐阜大学では、次世代のエネ  
ルギー政策、例えば水素電池、アン  
モニア電池、バイオマスなどの開

発や、環境問題の解決、カーボン  
ニュートラルの実現に向けた地方  
創生エネルギーシステム研究セン  
ターの研究により一層力を入れて  
いきます。私個人としては、岐阜  
の地の利を活かした研究を積極的  
に後押ししていきたいと考えてい  
ます。その一つが「地熱の活用」  
です。岐阜県北部には膨大なマグ  
マを抱えた奥飛騨温泉郷があり、  
この地域における地熱の活用に関  
する大きな可能性を感じています。  
岐阜大学ではこれまで風力発電、  
太陽光発電の研究で十分な実績を  
上げており、これらの知見を活か  
した地熱発電に興味を持っていま  
す。すでにこの地域で研究を始  
めている民間企業の皆さんと連  
携を図り、地域共創の観点から  
幅広い支援を行っていきたく  
いと思います。奥飛騨地域の再  
開発や、コロナ禍で打撃を受けた  
観光産業の復活にもつなげたい  
です。温水を活用したチョウザ  
メの飼育、ウナギやエビの養殖  
に加えて、スマート農業を用いた  
新たな名産品の開発にも注目に  
値です。野生動物管理研究セン  
ターによる野生動物の観察や森  
林の活用も重要です。まちづく  
り分野では地域協学センター、  
地域科学部や社会システム経営  
学環が、農業分野では

応用生物学部がさまざまな研究  
を行っています。また、地熱発電  
に伴う環境や水質の調査におい  
ても、流域圏科学研究センター  
や、地域環境変動適応研究セン  
ターなどの知見を活かすことが  
できます。まさにオール岐阜大  
学で参画できるプロジェクトへ  
と発展させていきたいと構想  
しています。

岐阜大学の強みは、まちづくり、  
ひとづくり、食づくり、もの  
づくり、医療づくりのすべてに  
対応できる点です。岐阜大学の  
持ち味を存分に発揮し、たく  
さんの研究、地域共創、起業を  
支援することで、活力ある若  
者たちが集まる社会を生み出  
していける。地域連携スマート  
金型技術研究センター、Guコ  
ンポジット研究センター、人工  
知能研究推進センターやCoデ  
ザイン研究センターなどの活  
躍も大いに期待しています。私  
はこうした岐阜大学の強みに  
着目し、岐阜の「ミ・ラ・イ・  
エ構想」を新たに掲げました。  
「ミ・ラ・イ・エ」とは、Migra  
tion(ミグレーション)、Labora  
tory(ラボラトリー)、Innova  
tion(イノベーション)、Educa  
tion(エデュケーション)の頭  
文字を組み合わせたものです。  
「ミ・ラ・イ・エ構想」が示す  
通り、岐阜大学には大きなポ  
テンシャルが

あります。それをいかに具現化  
していくか。これこそが学長で  
ある私の腕の見せ所ですが、一  
人の力ではどうすることもでき  
ません。大学の教職員の皆さん  
の支援をいただき、多くの意見  
を集約しながら、若者たちが  
夢や希望を見出し、それを現  
現できる大学を目指して頑張  
ってまいります。

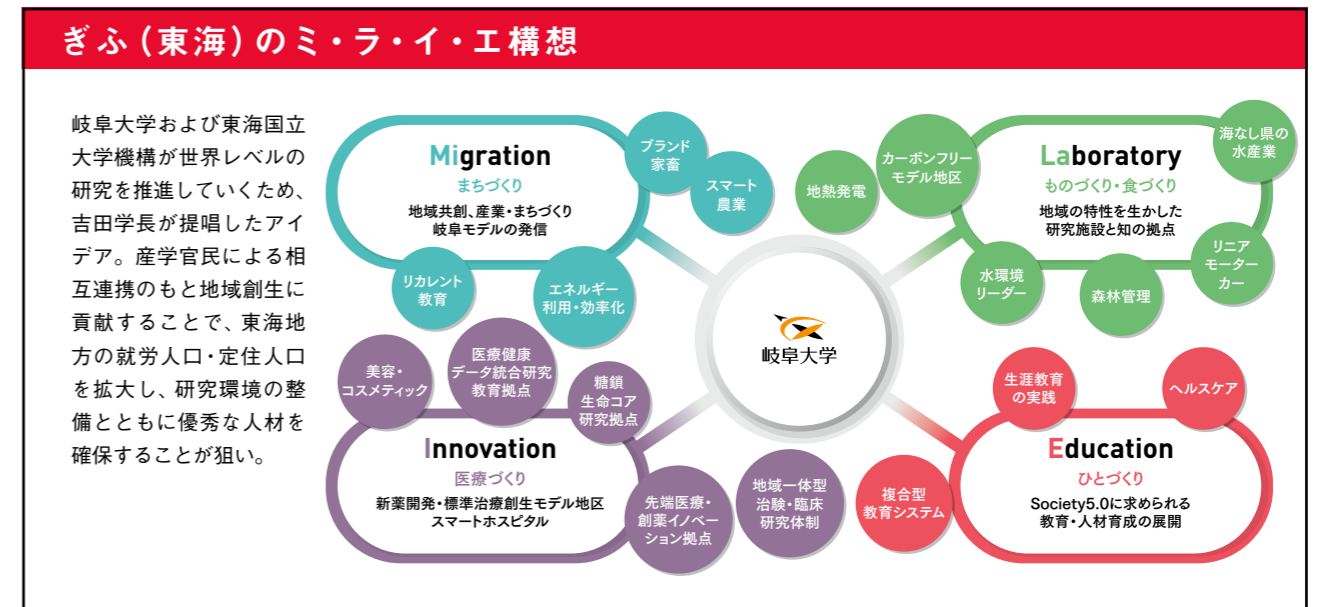
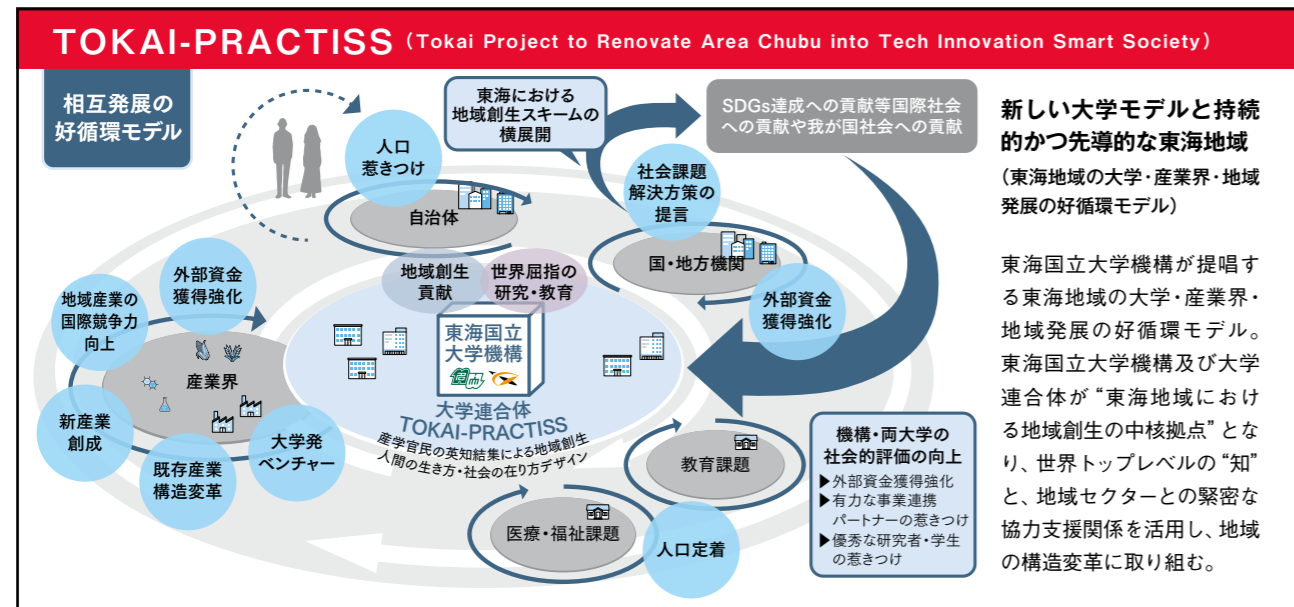
### 世界最高水準の知とともに 「仁徳」を養う学びの場に

新型コロナの感染拡大により、  
社会は大きく変化しました。デ  
ジタル・トランスフォーメーシ  
ョンが急速に進み、社会のあり  
方、個人の生き方や考え方も  
変わりました。コロナ新時代  
を迎えるなかで、若者たちが  
夢を抱き、それを現現できる  
ような大学であり続けること  
が岐阜大学の使命だと改めて  
感じています。また、岐阜県内  
には、たくさんの中企業があ  
ります。こうした地元企業の  
皆さんのお役に立てるよう  
な人材を育成し、共同研究な  
どに積極的に取り組むことで、  
相互作用を発揮しながら地域  
共創を果たしていきたいと思  
います。

私の信念は「和を大切にす  
ること」。座右の銘は、「和を以  
て貴しと

なす」です。その根底には「真  
の心」があると考えています。  
私は医学部の出身であり、これ  
まで医療に貢献してきたわけ  
ですが、私は常に「自分の家族  
だったらどうするのか」と考  
え、「患者さんは自分の家族だ  
」と思いながら医療に向き合  
てきました。また、教育者とし  
ては、医療技術や知識だけでなく、  
「仁術」の大切さを伝えてきた  
つもりです。今後は学長として  
より多くの学生の皆さんと触  
れ合うなかで、ぜひとも「仁  
徳」、「真の心」の大切さを  
伝えていければと思っています。

昭和の時代は、モノさえあれば、  
みんなが幸せでした。ところが  
現代は、そこら中にモノがあ  
ふれています。コンビニに行け  
ば、なんでも揃っている。では、  
そんな時代に何が必要なのか  
と言えば、それは「心」です。  
世界最高の知の拠点であり、  
それに合わせたモラルも身に  
付けられる場所。人文科学分  
野も揃った岐阜大学は、そんな  
学びの場であると思っています。  
次の時代を担う若者たちが豊  
かな人生を手に入れるためにも、  
学問と合わせて「仁徳」を身  
に付けた学生を育成していき  
たいと思います。そして私自  
身、学生の皆さんと一緒に成  
長していきたいと思っています。



# 新執行部の抱負

[総括・評価・総務・広報・基金担当]

## 学生・教職員が躍動し、社会に貢献、社会から支持される大学を目指す

これまで人類が見たことがない超少子高齢化時代を迎え、さらにITを初めとする技術革新やグローバル化が急速に進むなか、これまでの常識は通用しなくなってきました。このような時代では、確固たる知的基盤を基に、多様な価値観から自律的に考え、判断し、行動する人が求められます。岐阜大学は、この

ような人を育てる場でありたい、この思いから環境整備を進めていきます。加えて、生き活きと豊かに人が育つ場、真摯に真理や社会課題に挑戦する姿、研究成果の社会還元など、躍動する学生・教職員による教育研究活動を広く発信し、社会の信頼を勝ち得ると同時に、社会から支持・支援される大学を目指します。



杉山 誠 副学長

[企画・研究・財務・産学連携担当]

## 地域中核大学に相応しい経営体の姿を探求していきます

「学び、究め、貢献する」人材の輩出を使命とする本学を持続発展させるために、学内組織の不断の見直し・改革を通じて組織の機能強化を図り、地域中核大学として相応しい経営体の姿を探求してまいります。

運営費交付金漸減の中で、教育・研究の質向上に資する財政運営を堅実に実行とともに、聖域なき財政改革に取り組みます。

研究者の知的探求心に基づく学術研

究の卓越性を幅広い分野において高めるとともに、特定の研究分野において、世界トップレベルの研究成果を得ることが期待できる研究センター群を形成します。人類や地域社会の直面する諸課題を解決するリサーチマネジメントを実践し、とりわけ、「地域展開ビジョン2030」の推進を通して、産官学連携活動の新たな地平を拓いてまいります。



王 志剛 副学長

[教育・学生支援担当]

## 学生ファーストの大学であり続け時代に即した教育を提供する

コロナ禍が始まり3年目。大学は大学としての責任を果たしてきたでしょうか。岐阜大学は自信をもって首肯するでしょう。対面授業を重視し、特に1年生を中心に受講する全学共通教育では原則対面授業を貫いたのも、岐阜大学生がキャンパスの主人公と考えての措置でした。未曾有の災禍に大学として至らぬところもあったかもしれませんが、し

かし、遠隔授業を適切に取り入れた学部授業も徐々に整備され、ベストミックスと呼ばれる対面と遠隔の融合も途につきました。今後より一層、着実な知識・技能、思考力・判断力・表現力、そしてグローバルに活躍できる国際通用性のある学力を付けていきます。すべては岐大生が輝ける未来のために、教職員一同、力を合わせていきます。



山田 敏弘 副学長

[国際・情報・評価(副)担当]

## 地域中核大学として国際化の好事例を創出しましょう

教育、研究、国際化、社会貢献は、岐阜大学の基本的目標の大項目であり、大学が果たすべき責任として位置づけられています。これらは個別ではなくそれぞれが連関することによって、より高度な人材育成につながります。グローバル推進機構ではジョイント・ディグリープログラムをはじめ数々の国際化プログ

ラムでグローバル人材の育成に努めてきました。今後は東海国立大学機構の多様なアドバンテージも活かし、教育・研究・国際化・社会貢献を包括する新たな人材育成プログラムを開発し、学生のみならず若手研究者や社会人を対象に、地域中核大学としての国際化の好事例を創出していきたく思います。



神原 信志 副学長

[多様性・人権・図書館担当]

## 働きやすく・学びやすい、身近で頼もしい大学をめざして

男女共同参画室長として、女性研究者の教育・研究環境及び就業体制の確立、就業と家庭生活との両立支援や啓発活動等を推進しています。また女性だけでなく、多様な教職員や学生が働きやすく、学びやすい大学を目指しています。大学会館2階の交流拠点「男女共同参画室」(カモミール・カフェ)にぜひお越しください。

図書館長としては、従来の図書館の

役割に加え、オープンサイエンス時代における図書館のあり方を模索しています。また全国でも珍しく、館内等に博物館(アーカイブ・コア)があり、貴重な資料を保管・展示しています。エントランスホールでのテーマ展示や、イベント開催支援の機材貸し出し等、教職員や学生にとって身近で頼もしい図書館を目指しています。



大藪 千穂 副学長

[医学部附属病院長]

## 高度な先進的医療を提供する地域中核医療機関として前進

岐阜大学医学部附属病院はグローバルにもローカルにも活躍する人材を育成する教育機関、創薬など新しい標準治療を開発する研究機関、ロボット手術をはじめ高度な先進的医療を患者さんに提供する地域中核医療機関として前進し続けています。現在、本院ではメディカルデジタルトランスフォーメーションによるスマートホスピタル化を推進していま

す。大学と離れた地域の患者さんとのオンライン診療や高速ネットワーク通信を介した遠隔手術の実現、東海地域全体の大規模医療データベース構築などにより地域連携の拠点モデルを作り上げ、「グローバルハイクオリティ」な病院として患者さんに安心して診療を受けていただける、地域に密着した信頼される大学病院としてさらに発展させていきます。



秋山 治彦 病院長

# 「いい中小企業」になるためには？ 企業の経営理念が従業員に 浸透する仕組みを解明。

私は会社員や中小企業診断士として数々の企業を社内外から見の中で、「いい企業」の重要な要素が「経営理念の浸透」にあると実感しています。経営者の考えは、どのようにすれば従業員に浸透するのか。平成29年に著書『実践の場における経営理念の浸透』として発表した研究成果を紹介します。



岐阜大学  
社会システム経営学環  
柴田 仁夫 准教授

成文化されていなくても  
経営者の考え方は浸透する。

私は出版社で働く中で経営に関心を持ち、ベンチャー企業、大企業を経て中小企業診断士とMBAの資格を取得して公的支援機関に経営支援員として転職しました。そして、多くの中小企業の「なぜ売れないか」という悩みに応えるため、さらに修士号・博士号を働きながら取得。平成20年から評価担当を務めた「横浜型地域

貢献企業認定制度」では100社を超える中小企業を訪問して出会ったのは、数々の「いい企業」でした。すなわち従業員・顧客・株主・取引先・地域の5つのステークホルダーの方をしっかりと向いた企業です。それらの企業では経営者に確固たる信念や理念があり、従業員はこれを意思決定する際の指針としていました。

経営理念とは企業の信念や価値観などを示すもので、CSR（企業の社会的責任）への注目の高まりと

もにその重要性も増し、研究も盛んに行われています。それらの研究における経営理念は、以前は成文化されたものと定義されていました。ところが、理念が成文化されていない従業員が数十人の企業でも、判断に困ったときはどうするか従業員に尋ねると、「社長はいつもこう言う」という経営理念ともとれる言葉が次々と出てくるのです。

そこで成文化されていない経営者の考えも含めて経営理念と捉え、そ

の「浸透」の仕組みに注目した研究に着手しました。企業が製品・サービスを消費者に向けて行う一般的なマーケティングに対して、会社の方針などを社内に浸透させる仕組みを「インターナル・マーケティング」といいます。この視点から、従業員が経営理念をどう捉え、自身に取り込んでいくのかを明らかにしました。

研究の結果、経営理念の浸透を効果的に行うためには、経営者が従業員に経営理念を伝える時間を増やすことが有効だと分かりましたが、そのためには従業員との接触時間あるいは回数のどちらかを増やすしかありません。

ただ、関連性理論の観点からはいくつかの注意点があります。例えば話し手が、聞き手の受け取り方を認識して話さなければ、意図した通りには伝わりません。聞き手はその人の経験というフィルターを通して言葉を解釈するため、同じことを話しても人によって受け取り方が違うからです。では、分かりやすく伝えればいいのかというと、そうでもないのです。聞き手自身が「考える」という段階を踏まなければ、その内容が意識されず聞き流してしまうからです。従業員が「自分に関連性があるな」と思うような言葉で情報を発信し、なおかつ考えさせる必要があるのです。

また話し手が発した言葉は、考え

ていることの一部にすぎず、聞き手は話し手の意図と違う意味で捉える場合もあります。この誤解を解消するには対面で、互いに確認しながらやりとりすることが必要になります。また成文化されていない理念や解釈しにくい理念が浸透するには、経営者はこれを態度やしぐさで伝えるしかありません。このとき発言と行動が一致していることが前提となります。つまり「経営者が背中を見せること」です。

しかし、このような時間が取れない多忙な経営者はどうすればいいのでしょうか。有効な手段として、多様な背景を持つ人材を採用し、従業員同士で互いに考えをやりとりできる場と機会を提供すること。そして、経営者の代わりに社員とのコミュニケーションを図る右腕を早くつくるのが有効です。

岐阜の魅力を再発見できる人の育成と、  
学生に焦点を当てた研究に取り組む。



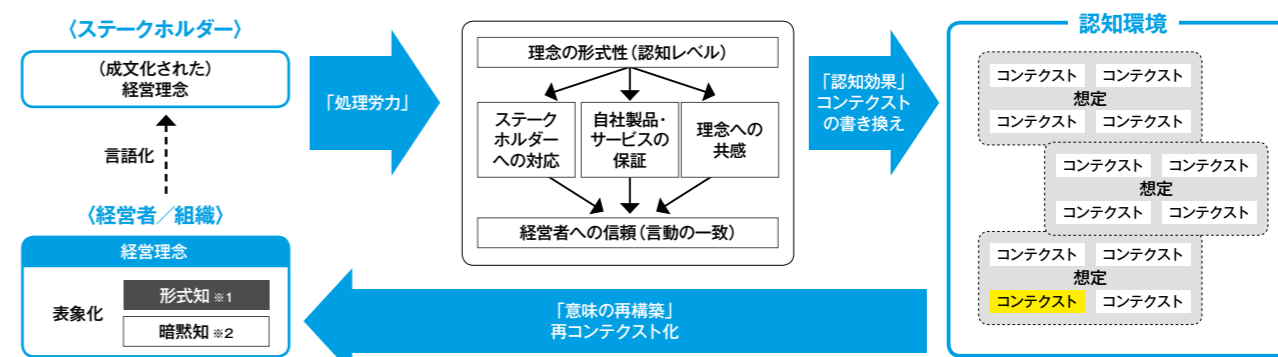
私は学生にも、就職活動時に訪問する企業は経営理念が浸透してい

るかを確認する必要があると話しています。企業が公表している理念と社長のメディアでの発言にずれがないか、企業訪問時には採用担当者以外の一般社員の様子が経営理念とずれていないかを見るようにアドバイスしています。

現在、経営理念の浸透に関する研究は一旦終了していますが、「学生が就職した後、彼らに経営理念を浸透させるには」という視点で、学生に焦点を当てたインターンシップに関する研究を、従来と同じ「現地現物」の精神を持って行っています。将来的にはその成果を取り入れ、経営理念の浸透についての研究をさらに進めたいと考えています。

岐阜大学に着任して感じるのは、この地域、中でも岐阜市は次世代産業をどうつくっていくかが課題だということ。既存のものを大切にしながらもこだわりすぎず、教育先進地となった島根県海士町のように「ないものはない」と聞き直り、ゼロベースでブランディングする意識が必要です。それは若い人にしかできません。本学の学生には、都市の最先端企業で活躍できるレベルの能力を携え、岐阜の魅力を若者の視点で再発見し、社会への責任感を持って自分の考えで行動し、人々の心を豊かにできる人に育ってほしい。そう考えて教育と研究に臨んでいます。

## 経営理念の浸透プロセス



※1 形式知：言葉や数字で表すことができ、伝達・共有することができるもの  
※2 暗黙知：主観に基づく洞察、直感、勘、技術や技巧などの言語化できないもの

言葉として経営者から従業員に伝えられた経営理念を、従業員が「経営者の言動と一致」として認識すると、それは個々の経験上持っている情報（コンテキスト）と結び付き、自分なりの「経営理念」として意味を再構築する。このプロセスの繰り返しにより経営理念は個人に浸透していく。成文化されていない経営理念は「何度も話す」ことが、言葉にしにくい経営理念の解釈は「（経営者の）背中を見せる」ことが特に重要となる。

# 難病「特発性小脳失調症」への自己抗体の関与を明らかに。治療法確立に向けた臨床試験が進行中。

脳神経内科が扱う疾患の一つ「特発性小脳失調症」は、そのメカニズムが解明されていない難病です。私たちの研究チームでは、この疾患の原因の一つが自己免疫の抗体にあることを突き止め、治療法確立に向けた臨床試験を実施しています。



岐阜大学大学院医学系研究科  
脳神経内科学分野  
下畑 享良 教授

原因不明の神経難病。  
症状を抑えるカギは「悪い抗体」。

私が脳神経内科に進んだきっかけは、研修医時代の「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」の患者さんとの出会いでした。その後、市中病院で診療に当たっていた時期には、重症の「歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症（DRPLA）」の若い女性患者さんを

担当。頻発する激しいけいれんを止める手立てがないまま病状は悪化の一途をたどり、担当を離れて数カ月で亡くなりました。DRPLAは神経変性疾患の中の「脊髄小脳変性症」に分類される病気です。その後、脊髄小脳変性症を一生研究するという当時の決意は変わらず、現在に至ります。

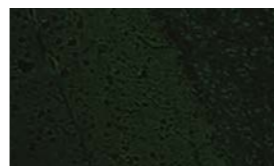
脊髄小脳変性症の一種に、小脳の

働きが悪くなってふらつきやしゃべりにくさといった症状が現れる「特発性小脳失調症」があります。徐々に進行する難病で、有効な治療法も見つかっていません。

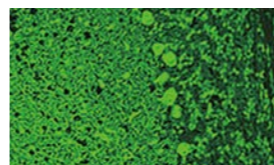
平成29年に岐阜大学に赴任し、私は同じ脳神経内科の木村暁夫准教授や吉倉延亮講師、竹腰顕助教とのチームで、この疾患の研究に着手しました。提案したのは、「自己抗体に

【図1】小脳を攻撃する異常な免疫反応

特発性小脳失調症患者の血液中から、健康者には認められない異常な抗体を検出した。



健康者のパターン



異常な抗体のある患者のパターン

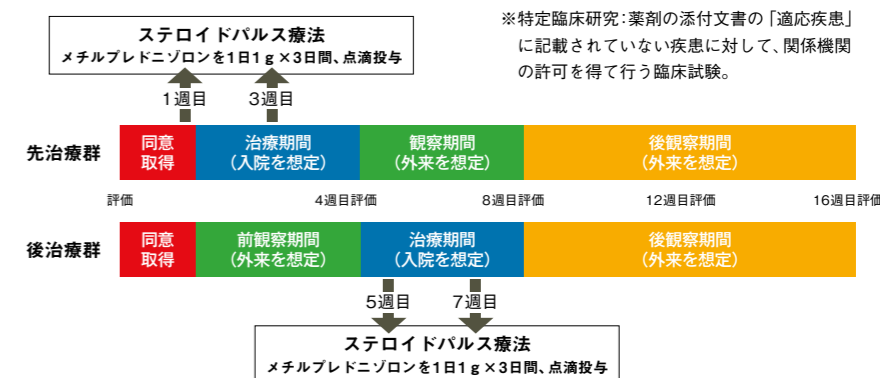
原因があるのでは？」との仮説でした。体内の抗体には、免疫として働く「良い抗体」と、自分自身の細胞を攻撃する「悪い抗体」があります。その悪い抗体＝自己抗体が小脳の神経細胞にダメージを与えているのではないかと考えたのです。私の専門分野は変性疾患<sup>\*1</sup>ですが、他の先生方の専門は神経免疫学<sup>\*2</sup>。それぞれの観点から研究した結果、患者さんの血液から健康者にはない異常な抗体「抗mGluR1抗体」を検出しました。

この結果を受け、悪い抗体を抑える効果のある薬剤を使用した医師主導臨床試験<sup>\*3</sup>を行っています。使用するステロイド剤「メチルプレドニゾロン」は、すでにぜんそくや他の免疫疾患の治療に使用されているものです。新たな承認を得る必要がないため、臨床試験で有効性を証明できれば、短期間で使えるようになります。

この研究の過程では、抗体の測定系確立という成果も得られました。脊髄小脳変性症が疑われる患者さんの血液や髄液から、疾患に関与する特異的な抗体を検出・測定する診断に役立ち、全国から相談が寄せられています。異分野の融合によって新しい発想が生まれ、

【図2】特発性小脳失調症を対象とした多施設医師主導臨床試験

「脊髄小脳変性症」のうち、「特発性小脳失調症」の患者を対象に、特定臨床研究※を実施。一般的な臨床試験では、2グループのうち一方にだけ投与するが、この試験では被験者である患者の利益を損なわないようにする倫理的観点から、全被験者に投与。一方のグループは投与前に、他方は投与後に観察を行うことで、薬剤の効果を検証する。（臨床試験は令和4年11月まで募集）



※特定臨床研究:薬剤の添付文書の「適応疾患」に記載されていない疾患に対して、関係機関の許可を得て行う臨床試験。

抗体が関与する脳神経疾患に関する研究をリードする存在となつたと自負しています。

「何としても臨床に役立てたい」が研究チームに共通の思い。

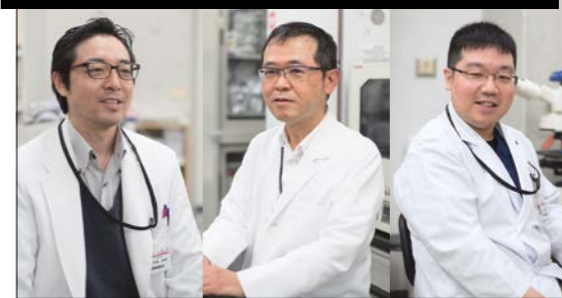


疾患のメカニズムを明らかにする「基礎研究」と、その結果に基づき原因を取り除く、あるいは病状の進行を遅らせる方法を見出す「臨床研究」の間には、従来、大きな隔りがありました。基礎研究の成果が患者さんに役立つまでの道のりは遠く、歯がゆさを感じてきました。現在の研究チームは少人数ながらも、基礎研究を大切に

つつ、患者さんの役に立つことを目指す医師の集まりです。できることから確実に成果を出し、岐阜から世界へと発信すべく取り組んでいます。

他にも新型コロナウイルスが失語症を引き起こす「COVID-19脳症」や、近年問題となっている医師の「バーンアウト（燃え尽き）」問題などの研究テーマを扱っています。また、専門医の教育にもチームで注力しています。高齢化に伴い認知症やパーキンソン病などの疾患が増え、脳神経内科のニーズも増す半面、マンパワーは不足していますが、他科と連携するなど治療の裾野を広げるべく努力しています。患者さんと長期にわたって向き合う脳神経内科は、やりがいを持って臨める診療科です。若い医師や医学生にも、ぜひ仲間に加わってもらえたらと願っています。

岐阜大学脳神経内科による、特発性小脳失調症研究チーム



(写真左から)  
吉倉 延亮 講師 (病棟医長)  
木村 暁夫 准教授 (医局長)  
竹腰 顕 助教

得意分野の知識を共有し、基礎研究により原因を見つけ、患者の治療に直結する治療法を見つけていきたいです。

\*1 変性疾患 運動機能や認知機能など、特定の機能を持つ神経細胞が障害され脱落して発症する病気。  
\*2 神経免疫学 神経疾患に免疫系との関連性からアプローチする医学の分野。  
\*3 医師主導臨床試験 医薬品メーカーではなく、医師が主導して行う臨床試験のこと。

# ひらけ！ 授業の扉



数理・データサイエンス教育「データ科学基礎」「データ科学基礎演習 A・B」

## データサイエンスのリテラシーを身に付けて、 将来に必要な論理的思考を培う。

新型コロナウイルス感染症の広がりとともに、さまざまなデータを分析している場面を見ることが多くなりました。しかしデータの本質について論理的に考え判断できる人はまだ少なく、悪用や誤解が後を絶ちません。こうした社会課題を解決するため、国が掲げた「AI戦略2019」ののっとり、岐阜大学ではデータサイエンスの基礎的な知識とスキルの修得を目指す授業を、本年度開講しました。授業の設計には各学部・学環の教員が参加して数理・データサイエンス・AI部会を立ち上げ、各々の学部における興味関心に沿った生のデータを使い演習を行います。成績は教員の直接採点ではなく、AIを活用し学生のアウトプットを理解度や独自性などの観点からデータ処理して評価する予定です。

データ科学の専門的な知識やデータ分析、プログラミング言語は、一部の技術者だけが身に付けるスキルだとは思いません。データ

対象学生：令和5年度から全学部学生必修（令和4年度は医学部医学科・社会システム経営学環のみ）  
履修期間：前学期

データサイエンスやAIへの関心を高め、理解し、適切に活用するための基礎的な能力を養う。講義では統計などのデータ処理について基本的な概念を学び、演習では実際にExcelやR言語、Pythonを使用してデータ分析やプログラミングを行います。オンデマンドで学び、オンラインで教員とやり取りが可能のため、意欲や習熟度に応じて効率的にデータサイエンスのリテラシーを身に付けることができます。

に基づく仮説生成、モデル構築・検証のアプローチや思考法は、文系・理系を問わず有効な基礎教養です。学生が将来どんな職業に就いたとしても、合理的で生産性の高い取り組みを助ける力となるはず。例えばプログラミング的思考があれば、業務における共通部分と変動部分を意識して、分担や手順を変えることで効率化が図られます。ひらめきや気づきの裏側にある論理を整理し、そのプロセスを言語化して相手を説得する力も養われます。またデータを科学的に見ることができれば物の見方も変わり、物事の

本質により近づくことも可能ではないでしょうか。

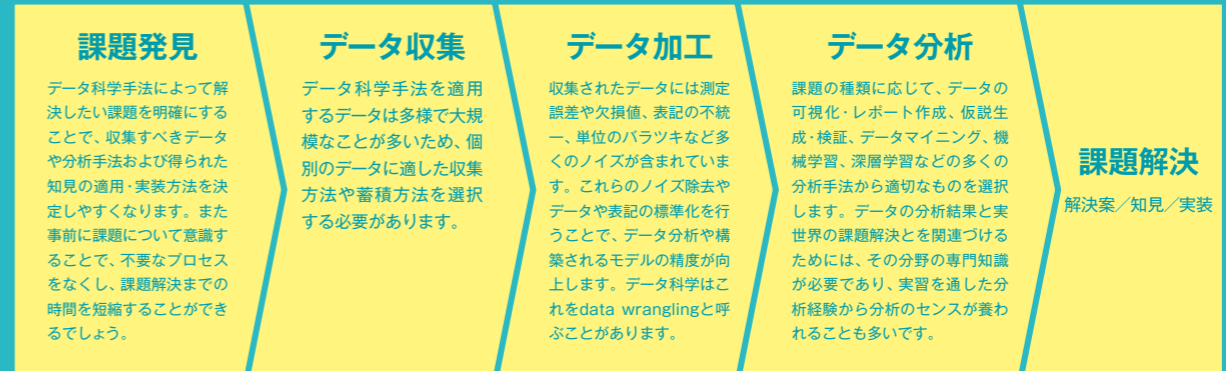
今後は名古屋大学と共同で授業ができるような展開を検討中です。大学院では企業が実際に使用するデータに触れる「実世界データ演習型育成プログラム」を共同開講しており、大学でも実践レベルで活用できるような授業とすることが今後の課題です。データサイエンティストは世界中で注目されており将来性もあります。この授業を受講した学生が社会参画することで、日本の生産性向上に寄与することを期待しています。

### 数理・データサイエンス・AI部会メンバー

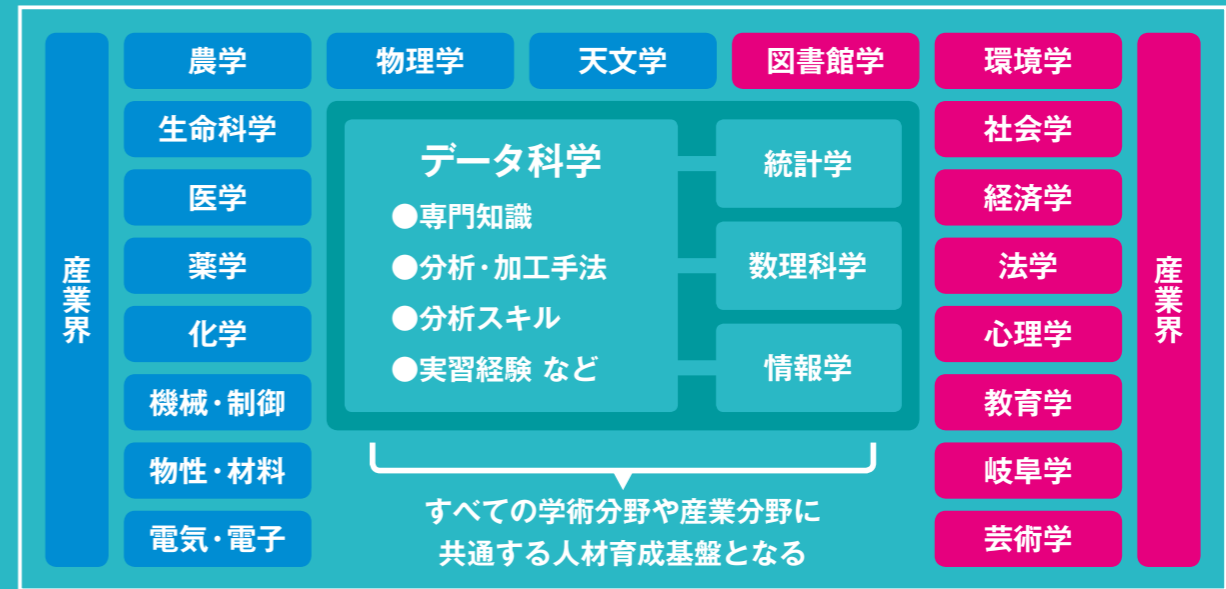


### 授業の流れ

#### データ科学の手法



#### データ科学の手法



#### 「実世界データ演習型育成プログラム」とは

本プログラムは、岐阜大学と名古屋大学と合同で行う大学院生・社会人向けのプログラムです。データサイエンティスト育成事業として多岐にわたる業種の企業や地方自治体から提示された課題についてデータを分析し、解決に向けた提案・コンサルテーションを行います。顧客満足度の分析や農産物の画像解析、物流データの分析、飲食店の出店立地分析など、企業が直面する課題はさまざま。データサイエンスを専門とする学生だけでなく、多様な専攻の学生と企業人が共同で課題解決に取り組む、実践的なプログラムです。



「プロジェクトマネジメント基礎」グループワーク



# 「年間走行距離は最低10,000km。 部員と一緒に自転車で全国を走り、 その楽しさを多くの人に伝えていきたい。」

「仲間と全国を駆け回りたい」と、岐阜大学自転車部を立ち上げた蒔苗拓真さん。36時間以内に山を自転車で登り下りし、エベレスト以上の標高を獲得する過酷なチャレンジ「EVERESTING ROAM」を令和3年11月に達成するなど、リーダーとして部を牽引し、自転車の魅力を後輩に伝える。



岐阜大学自転車部 部長  
まきなえ 蒔苗 拓真 さん

岐阜大学教育学部社会科教育講座地理学専攻 4年

## 岐阜大学自転車部

廃部していた前身団体「サイクリング部」を復活するカタチで、令和3年1月に創部。現在は19名の部員が所属し、毎週水・日曜日に活動している。水曜日はロードバイク（競技用自転車）で近隣を30km〜80km程度走行するトレーニングを実施。日曜日は100km〜300km程度のツーリングを行い、各地でのグルメや観光も楽しんでいる。毎週の活動以外にも個人として大会に参加し、上位入賞を目指している。

### EVERESTING ROAM (エベレストイング ローム)

任意のコースを自転車で走行し、走行距離400km以上、獲得標高10,000m以上を36時間以内に達成するチャレンジ。途中で休憩や睡眠をとることは許されている。エベレストイングとは、ヒマラヤ山脈にある世界最高峰の山「エベレスト」の標高8,848mに達することを指す。長時間にわたって丘の登り下りを繰り返す過酷な競技であるため、心得のあるサイクリストでも達成が難しい。蒔苗さんは、34時間56分で走行距離464.21km、獲得標高10,073mを走破し、日本人21人目（岐阜県では初）のEVERESTING ROAM達成者となった。



毎週水曜日の活動では、部員とともにロードバイクで近隣地域を走り、各自の課題と向き合う。部員同士仲が良く、和気あいあいとした雰囲気です。



日曜日は遠方への長距離走行が中心。走行時は日本各地の風景を楽しみ、休憩時にはご当地グルメを満喫している。



## 自転車を動かすエンジンは自分自身。 仲間の存在が力となりペダルを回して前へ進む。

自転車をきっかけに  
旅や地理に興味を持ちました。

中学生の頃に自転車で遠くへ旅をする楽しさと地理の面白さに開眼。秋田県出身の私は、全国を自転車で回り、自分の力で津々浦々の景色を楽しみ、自分の知らない世界に飛び出したい、と思うようになりました。雪国の秋田は自転車に乗れない季節があり、全国へのアクセスや、ヒルクライムの練習環境の良さなどの地理的な条件から、大学で自転車旅行を楽しむには日本の中心に位置する岐阜が適していると思い、岐阜大学に進学。日本で最も標高が高く自転車に登れる舗装路の最高地点「乗鞍スカイライン」があることも魅力でした。

入学後は、自転車好きな仲間や顧問の川窪先生の協力によって、自転車部を創部。走力向上へ向けて日々

練習に取り組み、部員同士で切磋琢磨しています。日曜日は琵琶湖を一周するなど、ほぼ1日を要する長距離を走行することもあります。途中で休憩して観光したり、現地のグルメを満喫したりするのも楽しみです。

過酷なチャレンジをクリアできたのは  
仲間の声援が力になったから。

「EVERESTING ROAM」と、東京-大阪間の約550kmを24時間以内に走る「キャノンボール」の達成、47都道府県制覇（現在42都道府県を走行）の3つを在学中の目標に掲げていました。「EVERESTING ROAM」は、栄養補給がポイントになるため、栄養学を学び、補給食の準備をし、当日の長時間走行に臨みました。過酷なチャレンジは達成者も少なく、終わりの見えない戦いには孤独に打ち勝つ精神面の強さが求められまし

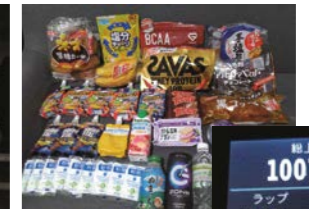
た。SNS等を通じて多くの方に応援に来ていただいたほか、夜間には寒中駆け付けてくれた部員らの姿もあり、苦しい時もペダルを漕ぎ続けることができました。人生の財産となったこのチャレンジを通して仲間の支えを今まで以上に強く感じましたし、常に過去の自分に恥じないよう歩みたいと思うようになりました。さらにトレーニングを積んで、「キャノンボール」と47都道府県制覇を達成したいと思います。

今後の目標は部員全員で北海道や九州の遠方へ合宿に行くこと、自転車好きを増やすことです。自転車は自分自身がエンジンとなるため、楽しみたい気持ちがあれば長距離も走れます。自転車は健康的で、グルメや旅行などとも相性が良い。SNSでも積極的に自転車の魅力を発信し、興味を持つ人を増やしていけたらと思います。



自転車部顧問  
岐阜大学応用生物科学部  
生産環境科学課程環境生態科学コース  
川窪 伸光 教授

私は自転車が大好きなボンコツ・サイクリストです。ですから、自転車部の部員の若き走りにはついて行けません。部員はバリバリのレース選手から、ロングツーリングを楽しむ旅人まで、実に多様で、エネルギーに満ちています。今後もその多様性を維持しながら、自転車でのチャレンジ体験を楽しんでほしいと思います。交通事故に気をつけて！



EVERESTING ROAMに挑戦した際の様子。10,000kcalを越えるエネルギーを消費するため、大量の補給食を用意してチャレンジに臨んだ。

| 総走行距離                |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 10073 <sup>m</sup>   |                       |
| ラップ                  | 105                   |
| 距離                   | 464 <sup>km</sup>     |
| スピード                 | 平均スピード                |
| 0.0 <sup>km/h</sup>  | 23.0 <sup>km/h</sup>  |
| 心拍数                  | 平均心拍数                 |
| 150 <sup>b/min</sup> | 147 <sup>b/min</sup>  |
| タイム経過                | カロリー                  |
| 34:56                | 10282 <sup>kcal</sup> |

# 「間口は広く、敷居は低く。 防災活動が特別なことでなく、 身近で日常的なものにしたい。」

高校生の頃から防災に興味を持ち、岐阜大学学生保安消防隊では隊長として防災ボランティア活動に取り組む星野想空さん。「いざという時に地域の住民が自分の身を守りつつ、困っている人を助けられるよう、“楽しい防災”を実践して、人の行動を変えていきたい」と日々の活動にあたる。



「“楽しい防災”を広めていくには自分たちも楽しむことが大事です」と岐阜大学学生消防隊のメンバー。



関市上之保地区で実施した講習会の様子。地震に弱い建物の特徴が分かるワークショップや、水道やガスが使えなくなった場合の食事のシミュレーションを行った。



出展した「岐阜市まるごと環境フェア」では、ペットボトルを活用したランタン作りを行い、好評を博した。



## 1人でも多くの人に防災・減災の大切さを伝え、 実際に行動する人の母数を増やしていく。

高校生の頃から防災に興味があり学生保安消防隊に参加しました。

今年で東日本大震災から11年が経ちましたが、当時テレビで観た映像が今でも脳裏に焼き付いています。高校の担任の先生が、防災意識向上を目的に開催されている「防災推進国民大会」に連れて行ってくれた際に、被災された方からお話を聞く機会がありました。そこで災害に備えて準備をする必要性を強く感じ、自分も何かできないかと思い、学生保安消防隊に入りました。

そもそも「防災」とは、地震や水害、火事などの自然災害に備えること。イベントに出展する際は「防災に興味はあるけど、実際何から取りかかれればよいか分からないため、教えてほしい」と主催者からオファーを

いただくパターンが多いです。誰もがすぐにできるのは、水や食料などの備蓄を準備したり、ハザードマップを確認したりすること。ハザードマップは、地震や洪水、土砂災害などの種類ごとに被災想定区域や避難経路などをまとめたものですが、イベントに行くときに見たことがない存在も知らないという話を聞くこともあります。情報は更新されるため、定期的に国土交通省や市区町村のWEBサイトなどで確認することをお勧めします。岐阜大学がある岐阜市は、まちなかに長良川が流れていて金華山などの山が近いこともあり、洪水や土砂被害の可能性がある場所が多いのが特徴。台風などで大雨が降る際は、本当にピンチになってからでは遅いので、余裕を持って避難することが大事です。

前向きに楽しく活動して大学や街の安全を守りたい。

私たちが普段の活動で大事にしているのは、楽しく防災に取り組むこと。固く考えすぎたり、とにかくやらないと駄目なんだ！と叫んだりしても地域の皆さんの防災意識は高まりません。自分事として考えてもらえるよう、伝え方を工夫していきたいです。また、防災に取り組んで、早めに避難した結果何もなかった時にメンバーでよく話しているのは「みんな無事で良かったね」ということ。災害は無いに越したことがないですし、準備をしておけば有事の際に役立つので、防災の呼びかけを前向きに続けていきたいです。そして、同じ気持ちを持った仲間を増やして、地域の安全に貢献できればと思います。

岐阜大学学生保安消防隊 隊長  
星野 想空 さん  
岐阜大学工学部電気電子・情報工学科 3年

### 岐阜大学学生保安消防隊

平成25年に学生有志が設立したサークル。現在は4名のメンバーが所属し、「自分たちの大学や街は自分たちで守る」をスローガンに、防災ボランティア活動を行っている。活動は週1回の定期ミーティングと、学内外で行われているイベントへの参加。イベントでは、出展ブースにて地震や水害などへ備える大切さを伝える展示を行うほかスタンプラリーなどの体験企画を実施している。最新の情報や活動の様子は、Twitter (@gcvsfc) で発信中。

#### 警戒レベルと防災気象情報

内閣府がまとめた、災害に対する避難の目安。警戒レベル5は危険が差し迫った状態のため、レベル4になる前に避難することが重要。

| 警戒レベル | 取るべき行動             | 気象庁等の情報                              | 危険度分布    |
|-------|--------------------|--------------------------------------|----------|
| 5     | 命の危険<br>直ちに安全確保    | 氾濫発生情報<br>大雨特別警報<br>高潮特別警報           | 極めて危険    |
| 4     | 危険な場所から<br>全員避難    | 土砂災害警戒情報<br>氾濫危険情報<br>高潮警報           | 非常に危険    |
| 3     | 危険な場所から<br>高齢者等は避難 | 大雨警報<br>洪水警報<br>氾濫警戒情報               | 警戒(警報級)  |
| 2     | 避難行動を確認            | 高潮注意情報<br>大雨注意情報<br>氾濫注意情報<br>洪水注意情報 | 注意(注意報級) |
| 1     | 災害への心構え            | 早期注意情報(警報級の可能性)                      |          |



岐阜大学学生保安消防隊顧問  
岐阜大学社会システム経営学環  
高木 朗義 教授

このサークルは、現在も小学校教諭として学校防災で活躍している初代隊長が地元消防団への加入をきっかけに「自分たちの大学や街は自分たちで守ろう!」という熱い想いで仲間を集めて設立したものです。この手のサークルは代替わりできないことが多いのですが、星野さんも芯が通っていて頼もしい存在ですし、隊員の学生たちも何らかの想いで防災士を取得して活動しており素晴らしいです。今後も想いを持つ学生たちによる大学や街への貢献が継続することを期待しています。



みんなの森 ぎふメディアコスモスで開催された「エコフェス」に出展。ペットボトルを使った浮き輪や新聞紙で簡易的な食器を作る方法を来場者にレクチャーした。



## 各種協定及び覚書を締結しました

令和3年10月22日(金)

輪之内町と連携に関する  
包括協定を締結



令和4年1月20日(木)

公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団  
と次世代地域リーダーの育成及び岐阜市  
における青少年の健全育成と生涯学習の  
推進に向けた連携に関する協定を締結



令和4年2月17日(木)

株式会社技研サービスと  
次世代地域リーダーの協働育成の  
推進に関する覚書を締結



## 岐阜大学の学生が各種表彰を受けました

令和3年10月13日(水)

岐阜大学環境サークルG-ametが第12回  
中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会  
で「中部大学学長賞」を受賞



令和3年11月4日(木)～14日(日)

「iGEM Gifu」が2021 iGEM Giant  
Jamboreeで金賞を受賞



令和3年11月13日(土)

起業部学生チームが「Tongaliアイデア  
ピッチコンテスト2021」「2021東海学生  
AWARD」で最優秀賞を受賞



令和3年12月16日(木)

教育学研究科の杉江萌花さんが「第19  
回キャンパスベンチャーグランプリ中  
部」で大賞を受賞



令和4年3月22日(火)

岐阜大学環境サークルG-ametがASCN  
2021年次大会において「金賞」を受賞



令和4年4月21日(木)

本学学生チームが「第14回学生金型グラ  
ンプリ プレス用金型部門」で金賞及び  
(一財)産業デザイン賞を受賞



## スマート環境制御対応温室が 設置されました

令和3年12月3日(金)

応用生物科学部  
附属岐阜フィールド  
科学教育研究セン  
ターにスマート  
環境制御対応温室  
が設置されました。  
スマート温室はICT



を活用した環境制御機能を有しており、応用生物科学部の学生は研究や実習を通してスマート温室について学び、活用していきます。スマート温室は、本学の学生をはじめ、他大学の実習、近隣小・中学校、高校や、公開講座などにも活用される見込みです。

## 「eco検定アワード2021」エコユニット部門 で大賞を受賞しました

令和3年12月7日(火)

本学は「eco検定  
アワード2021」エコ  
ユニット部門で、教  
育機関で初めてとな  
る大賞を受賞しまし  
た。地域課題解決に  
貢献する人材育成の

ため大学で推進している「次世代地域リーダー育成プログラム」に岐阜県との連携のもとで「環境リーダーコース」を新設させた点など各種表彰につながる成果を評価いただいたの受賞となります。今後も環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に取り組んでいきます。



## 岐阜大学の教員が各種表彰を受けました

本学の教員が各種表彰を受けました。「有機合成化学協会 協会賞」は、有機合成化学または有機合成化学関連産業の発展のために著しく貢献する研究または発明をなした研究者を表彰するもの。文部科学大臣表彰は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術の水準の向上に寄与することを目的として行われているものです。本学はこれらの研究を更に発展させ、産学官と連携することで、地域中核大学として今後ますます社会に貢献していくことを目指します。

令和4年2月16日(水)

工学部 村井利昭 教授が「有機合成化学  
協会 協会賞(学術的)」を受賞



村井教授 研究テーマ「典型元素不飽和結合を軸とする反応開発と機能性分子創出への展開」

令和4年4月8日(金)

工学部 木下幸治 准教授 及び 木村友  
亮 助教が 科学技術分野の文部科学大  
臣表彰を受賞



木下准教授 研究テーマ「経済的で環境に優しい鋼構造物の疲労き裂予防保全工法の開発」  
木村助教 研究テーマ「CO<sub>2</sub>レーザー加熱技術の地球惑星科学への応用に関する研究」

## 岐阜県野生動物管理推進センターが 設置されました

令和4年4月1日(金)

令和4年4月に  
岐阜県野生動物管  
理推進センターが  
学内に設置されま  
した。岐阜県野生  
動物管理推進セン  
ターは、岐阜県及び  
本学が共同設置する野生動物の管理を推進するためのシンクタンク組織として、生物多様性保全の観点から野生動物による被害への対策強化、地域課題の解決と豊かな地域社会の創出に貢献することを目的に事業を実施していきます。



## 令和4年度入学式を行いました

令和4年4月7日(木)

令和4年度入学式を長良川国際会議場にて行い、学部学生1352名、大学院学生596名が入学しました。式典では、大学院入学生を代表して地域科学研究科の見山寛奈さん、学部入学生を代表して社会システム経営学環の中嶋萌さん、工学部の小野凌世さんが宣誓を行い、「学業や研究に専念し、輝かしい未来に向かって日々努力する」などと抱負を語りました。



## 岐阜大学教員の研究を動画で紹介 する"GU Research"が始まります

令和4年5月20日(金)



GU Researchでは、岐阜大学での研究・勉学の魅力を多くの方にお伝えするため、本学の教員が自身の研究内容を分かりやすく解説した動画を掲載しています。どの動画も15分～20分程度と気軽に視聴できるものとなっております。是非ご覧ください。



多くの皆様から岐阜大学基金へ  
ご寄附をいただき、心より  
お礼申し上げます。

岐阜大学基金創設の趣旨

本学が、更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献できる大学としての責任を果たすためには、流動的・機動的資金の運用が可能である基金が必要であることから、平成21年6月に創立60周年記念を契機として「岐阜大学基金」を創設いたしました。

この基金は、多くの皆様のご協力により、学生に対する奨学金や国際交流事業、特色ある研究活動への支援、地域社会への貢献事業、キャンパス整備など継続的な教育研究活動に活用することとしております。

ご寄附者芳名録

令和3年10月から令和4年2月末までにご寄附いただいた方で、掲載をご了承いただいた方を五十音順にご紹介させていただきます。また、3月以降にご寄附をいただきました方につきましては、次号にて掲載させていただきます。なお、本学役職員につきましては割愛とさせていただきます。

岐阜大学における新型コロナウイルス感染症対策を含む学生支援、国際交流、特色ある研究活動及び地域貢献などを充実・発展させるために、なお一層の岐阜大学基金へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

|          |         |         |         |         |        |         |        |        |        |
|----------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 浅井 井加代 横 | 太田 直人 横 | 北嶋 敏和 横 | 柴田 正人 横 | 田村 昌一 横 | 林 秀男 横 | 宮西 邦夫 横 | 横山 夫 横 | 横山 夫 横 | 横山 夫 横 |
|----------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|

### 受動喫煙対策 のひとつとして

自治体では小学生向けに、コチニン検査(尿検体)を導入しています。大人だけでなく、将来性のある子供にも是非、コチニン検査をご提供ください。

**検査要綱**

- 測定原理: 酵素免疫測定(ELISA)法
- 検体: 尿

株式会社コスミックコーポレーション  
〒112-0002 東京都文京区小石川12-7-3 富坂ビル  
電話: 03-5802-5971  
Email: cc@cosmic-jpn.co.jp

2111BS

### 世界が選んだ 知財のエキスパート集団

例年に引き続き、世界が選ぶ日本の優秀特許事務所へ選出されました。東海地区では唯一当所のみが毎年選出されています。  
※Managing Intellectual Property誌の調査による[1999-2021]

**HIROE AND ASSOCIATES**  
弁理士法人  
広江アソシエイツ特許事務所

www.hiroe.co.jp  
〒500-8368 岐阜市宇佐3丁目4-3  
Tel 058-276-2122 Fax 058-276-7011

※広告に関するお問い合わせは各企業・団体までお願い致します

### 岐阜大学クラウドファンディング

岐阜大学では、教育研究活動等の更なる推進のため、クラウドファンディングを活用したプロジェクトを開始しました。皆様のご支援を通じて、質の高い教育の提供や、本学の研究を一層発展させ、地域社会のみならず国際的な課題解決に貢献してまいります。本学の多様なプロジェクトへ、皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

#### クラウドファンディングとは

クラウドファンディング(crowdfunding)とは群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語で、インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみです。なお、本学で実施するクラウドファンディングプロジェクトへのご支援は、岐阜大学への寄附としてみなされ、税制上の優遇措置が受けられます。

学び、究め、貢献するを加速させるために。

岐阜大学クラウドファンディングの詳細については、WEBをご覧ください。  
<https://www.gifu-u.ac.jp/research/propulsion/crowdfunding.html>

岐阜大学クラウドファンディングについてのお問い合わせ先  
国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学  
Development Office (DO室)  
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1  
TEL 058-293-3276 FAX 058-293-3279  
E-mail kikin@gifu-u.ac.jp

岐阜大学基金の詳細については、WEBをご覧ください。  
<https://www.gifu-u.ac.jp/fund/>

岐阜大学関連商品付「岐大プレミアム募金」を期間限定で実施しています。詳細については、WEBをご覧ください。  
<https://www.gifu-u.ac.jp/fund/gidai-premium.html>

岐阜大学基金についての  
お問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学  
Development Office (DO室)  
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1  
TEL 058-293-3276 FAX 058-293-3279  
E-mail kikin@gifu-u.ac.jp

# WEB OPEN CAMPUS 2022 近日公開!!



新型コロナウイルス感染症対策のため、WEBオープンキャンパスを実施します。特設WEBサイトでは、大学説明や入試情報はもちろん、キャンパスの周辺マップや岐大生の1日などを掲載。実際に訪れることなく岐阜大学でのキャンパスライフをイメージできる内容となっております。

Q 岐阜大学 WEB オープンキャンパス

検索

特設WEBサイトは  
こちらから



大学構内で実施するオープンキャンパスの情報についても  
上記特設WEBサイトにてお知らせします

## アンケートに答えて 岐阜大学オリジナルグッズを GET!!



今後のよりよい誌面作りのため、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。岐阜大学広報誌「岐大のいぶき No.43」に添付されたアンケートハガキでアンケートにご協力いただいた方の中から、**抽選で6名様**に学生がデザインを考案した『**岐阜大学マスキングテープ(2種類)**』と『**岐阜大学タオル1色(色は選べません)**』を進呈いたします。プレゼントをご希望の方は、アンケートハガキにお名前、ご住所、電話番号をご記入ください。

プレゼント応募締切:  
令和4年10月31日(月)必着

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。※重複での応募は無効とさせていただきます。



### 「岐大のいぶき」について

「いぶき」は、滋賀・岐阜県境にある伊吹(いぶき)山と生氣・活気を意味する息吹をかけて名付けられました。岐阜大学のある濃尾平野には、“伊吹おろし”と呼ばれる強い季節風が吹き込みます。これになぞらえ、本誌には、岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ感じさせたいという願いが込められています。

■発行：国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学広報企画室

■「岐大のいぶき」についてのご意見感想をお待ちしております。

送付先 / 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学総務部総務課広報室広報係  
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL 058-293-2009 / 3377 FAX 058-293-2021  
Email kohositu@gifu-u.ac.jp

岐大のいぶきは WEB からご覧いただけます!

<https://www.gifu-u.ac.jp/about/publication/publications/ibuki.html>



岐阜大学公式  
Twitter  
やっています。

@GifuUniv\_PR

TWITTER, TWEET, RETWEET and the Twitter logo are trademarks of Twitter, Inc. or its affiliates.



こちらからアクセス!